



JEWELRY BOX

2018年
4月12日(木)
第 4 号

「あっ校長先生だ」とブラインド越しに手を振ってくれる高等支援2年生男子生徒。聞けば「トータルの授業です」まるでプロフェッショナルな窓磨き。窓ふきなどというものではなく、まさに窓を磨き倒す感じ。仕事が丁寧で仕上がり具合が素晴らしく、窓やドアの鍵を掛ける時にうっかりガラス面に触らないように気をつけようと誓った程です。そういえば赤や白 ピンクのゼラニウムや色とりどりのビオラ等、高支生徒らによって大切に、しかもきれいに育てられた入学式の花々は 式典を一層華やかにしてくれました。数個プランター一運搬可能のキャスター付で作られている、段々ボックス移送中の当日準備をしている彼らによろしくねと声をかけ、その足で松田主任を探しましたよ。「ねえねえ、花の苗とかの販売があったら、忘れずに声をかけてよ。予約だからね」と。(あくまでも自分本位なわたくしです) 後日散水中 剛センセから「花が疲れているので切って肥料を入れる必要あります」と説明を受け、高支生徒らが楽しげに活動している姿を思い描きました。